

静岡の中小企業、インドで鑄造技術者育成に挑む

－木村鑄造所、JICA と連携し調査へ－

国際協力機構(JICA)は7月31日、「中小企業・SDGsビジネス支援事業～案件化調査(中小企業支援型)～」に株式会社木村鑄造所(静岡県駿東郡、木村寿利代表取締役)が提案し採択された「鑄造技術者育成のための案件化調査(中小企業支援型)」(インド)の業務委託契約を締結しました。

インドは世界4位の自動車生産大国になり、自国の製造業強化を推進していますが、インド国内で製造される製品は未だ低品質で、現地に進出した日系メーカーや現地メーカーは重要部品については欧州・日本などの先進国からの輸入に頼っているのが現状です。

木村鑄造所は発泡スチロールを用いた消失模型鑄造法(フルモールド鑄造法)や3Dプリンタを駆使した鑄造法(ダイレクトモールドイングプロセス)を持ち、従来の木型法に比べて高品質・高付加価値の鑄造部品生産を実現しています。また、日本鑄造協会・日本鑄造工学会と立ち上げた「鑄造カレッジ」での、鑄造業界全体の技術レベル向上のための人材育成ノウハウを持っています。本調査では、同社の持つ高度な鑄造技術と人材育成のノウハウを活用し、自社の求める品質に対応できる鑄造技術者育成の可能性と自社のビジネス展開計画の実現可能性を調査します。



大型鑄物



3Dプリンタ造型砂型

JICAは優れた製品や技術力を有する日本の中小企業の途上国進出を支援しています。中小企業・SDGsビジネス支援事業は、途上国が抱える課題解決に資する製品や技術を持つ企業が、進出検討に必要な現地調査を通して海外展開事業計画を策定することを目的としています。

取材をご希望の場合は、下記宛にご連絡をお願いいたします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 連携推進課 須田 〒453-0872 名古屋市中村区平池町4-60-7
TEL : 052-533-1387 e-mail : Suda.Hiromi@jica.go.jp